

I 経済活動別府内総生産（生産側）（名目）

項目	推計方法	資料名・照会先
総生産額 = 産出額 - 中間投入額（ソフトウェア投資額控除・政府手数料加算後）		
<p>1 農林水産業</p> <p>(1) 農業</p> <p>(2) 林業</p> <p>(3) 水産業</p>	<p>産出額 = (1) + (2) + (3)</p> <p>(1) 農業 = ①耕種農業+②畜産+③農産加工の各産出額</p> <p>(2) 獣医業 = 全国産出額×獣医業従業者数対全国比</p> <p>(3) 農業サービス業=全国産出額×農業サービス業従業者数対全国比</p> <p>中間投入額 = (1) + (2) + (3)</p> <p>(1) 農業 = 産出額×農業経営費/農業粗収益</p> <p>(2) 獣医業 = 全国産出額×国の中間投入比率</p> <p>(3) 農業サービス業 = ”</p> <p>産出額 = (1) + (2)</p> <p>(1) 育林業 = 育林の生産額</p> <p>(2) 素材生産業 = 粗生産額(木材生産+薪炭生産+栽培きのこ類生産+林野副産物採取)</p> <p>中間投入額 = 産出額×国の中間投入比率</p> <p>産出額 = (1) + (2)</p> <p>(1) 海面漁業・海面養殖業 = 各生産額</p> <p>(2) 内水面漁業・内水面養殖業 = 漁獲量×市場単価</p> <p>中間投入額 = 産出額×国の中間投入比率</p>	<p>大阪農林水産統計年報 (大阪農林統計協会)</p> <p>直接照会 経済センサス、事業所・ 企業統計(総務省) 関係指標</p> <p>大阪府産業連関表(府統計課) 直接照会 関係指標</p> <p>大阪農林水産統計年報 大阪市中央卸売市場年報</p> <p>関係指標</p>
<p>2 鉱業</p>	<p>産出額 = 全国産出額×年度転換比率(GDP:年度/暦年) ×従業者数対全国比</p> <p>中間投入額 = 産出額×国の中間投入比率</p>	<p>国民経済計算年報(内閣府) 経済センサス、事業所・ 企業統計(総務省)</p>
<p>3 製造業</p>	<p>産出額 = (1) + (2) + (3) + (4)</p> <p>(1) 工業統計分(砕石業除く、新聞・出版業加算) (製造品出荷額等※+在庫純増)×年度転換比率 年度転換比率:(生産指数の年度値/暦年値)×(産出物価指数の年度値/暦年値) ※新聞・出版業については新聞発行部数、書籍・雑誌年間販売額の伸び率で推計</p> <p>(2) 府営印刷=決算書より</p> <p>(3) 造幣局=財政状況調査より</p> <p>(4) と畜業=決算書より</p> <p>中間投入額=(1) + (2) + (3) + (4)</p> <p>(1) 工業統計分(砕石業除く、新聞・出版業加算) 原材料使用額等※×年度転換比率+間節費-ソフトウェア額+政府手数料 [年度転換比率]=(生産指数の年度値/暦年値)×(投入物価指数の年度値/暦年値) [間節費]=産出額×国の間接費比率 [ソフトウェア額]=業種別産出額×(産連基準年次の業種別ソフトウェア額/産連基準年次の業種別産出額)×GDP当該年度のソフトウェア比率の伸び率×(GDPベースの基準年次のソフトウェア比率/産連ベースの基準年次のソフトウェア比率)</p> <p>(2) 府営印刷=決算書より積上げた額-ソフトウェア額</p> <p>(3) 造幣局=財政状況調査-ソフトウェア額</p> <p>(4) と畜業=決算書より積上げた額-ソフトウェア額</p>	<p>大阪の工業(府統計課) 大阪の工業動向() 日本銀行統計 直接照会 産業連関表(総務省) 国民経済計算年報(内閣府) 大阪府歳入歳出決算書 財政状況調査(府統計課) 地方公営企業決算状況(自治大阪) (社)日本新聞協会ホームページ 関係指標</p> <p>※ただし、19年工業統計から集計項目の定義変更が行われたが、県民経済計算においては、変更前の定義で時系列性を確保している。</p>

項 目	推 計 方 法	資 料 名 ・ 照 会 先
4 建 設 業	<p>産出額＝(1)＋(2)＋(3)</p> <p>(1) 建築工事＝①＋② ①民間建築工事費＝建設投資推計額(民間)×出来高^ベス工事費対全国比(民間) ②公共建築工事費＝ " (政府)× " (公共)</p> <p>(2) 土木工事＝①＋② ①民間土木工事費＝建設投資推計額(民間)×出来高^ベス工事費対全国比(民間) ②公共土木工事費＝ " (政府)× " (公共)</p> <p>(3) 補修工事＝①×② ①土木工事産出額＋建築工事産出額 ②産業連関表比率＝「建設補修」/(「建築」＋「土木」) 補外は元請完成工事高による建設補修率で延長推計</p> <p>中間投入額＝産出額×国の中間投入比率</p>	<p>建設総合統計年度報 (国土交通省)</p> <p>建設投資見通し(")</p> <p>大阪府産業連関表(府統計課)</p> <p>建設工事施工統計調査 (国土交通省)</p>
5 電気・ガス・水道業 (1) 電気業 (2) ガス業 (3) 水道業 (4) 廃棄物処理業	<p>産出額＝①＋②</p> <p>①発電部門 全社分発電部門産出額×発電電力量の府分割合 [全社分発電部門産出額]＝電気事業営業収益－(地帯間購入電力料 ＋他社購入電力料)</p> <p>②送電・配電部門 全社分送電・配電部門産出額×消費電力量の府分割合 [全社分送電・配電部門産出額]＝全社分産出額－発電部門産出額</p> <p>中間投入額＝産出額×中間投入比率－ソフトウェア投資額 ＋政府手数料 [中間投入比率]:全社分の数値で算出 (営業費用－人件費－減価償却費－租税公課)/営業収益</p> <p>産出額＝供給業者営業収入×府分割合(ガス供給量の全社比) 中間投入額＝産出額×中間投入比率－ソフトウェア投資額 [中間投入比率]:全社分の数値で算出 (営業費用－人件費－減価償却費－租税公課)/営業収益</p> <p>産出額＝営業収益－受託工事収益－受水費 (上水道、簡易水道、工業用水道について算出) 中間投入額＝(動力費＋修繕費＋材料費＋薬品費等)－ ソフトウェア投資額</p> <p>産出額＝国値×年度転換比率(第3次産業活動指数:年度値/暦年値) ×従業者数対全国比 中間投入額＝産出額×国の中間投入比率</p>	<p>直接照会 第3次産業活動指数(経産省) 産業連関表(総務省) 経済センサス、事業所・ 企業統計(") 関係指標</p> <p>大阪府統計年鑑(統計課)</p> <p>地方公営企業決算状況調査(府財政課) 大阪市決算書 地方公営企業決算状況 (自治大阪)</p>
6 卸売・小売業	<p>産出額＝民間分＋公的分</p> <p>◎民間分 (年間販売額－本支店間移動額)×マージン率＋その他の収入額</p> <p>[年間販売額、本支店間移動額] ①商業統計実施年＝年度転換が必要な場合は商業販売統計を 使って転換する。 ②商業統計実施年以外の補外値 前回値(または前年度補外値)×商業販売額(国値)の伸び率 ③補間値 前回値×修正補外値伸び率 ※修正補外値伸び率＝補外値伸び率×幾何平均乖離率</p>	<p>大阪の商業(府統計課) 商業統計調査(経済産業省) 商業動態統計調査(") 法人企業統計季報(財務省) 個人企業経済調査年報 (総務省統計局) 財政状況調査(府統計課) 関係指標</p>

項 目	推 計 方 法	資 料 名 ・ 照 会 先
	<p>[マージン率] (売上高－売上原価)／売上高 (法人・個人別に推計し、年間販売額で加重平均) [その他の収入額] (国のその他の収入額／国の年間販売額)×府の年間販売額</p> <p>◎公的分 食料安定供給特別会計＝人件費＋物件費＋減価償却費</p> <p>中間投入額＝産出額×国の中間投入比率 (卸売業・小売業ごとに推計) ◎公的分は該当項目の積上げ</p>	
<p>7 金融・保険業 (1)金融業</p> <p>(2)保険業</p>	<p>産出額＝a受取利子＋b受取配当－c支払利子＋d受取手数料</p> <p>①民間金融業＝ア～エの合計 ア 全国銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、商工組合中央金庫、農業協同組合、信用農業協同組合連合会＝ a～dについて、全国分×預金残高または貸出残高の対全国比 イ 全国証券会社＝a～dは株式売買高の対全国比 ウ 農林中央金庫、ノンバンク＝a～dは従業者数対全国比 エ その他＝全国産出額×全国銀行勘定対全国比</p> <p>②公的金融業＝ア～オの合計 ア 日本銀行＝全国受取利子×貸出残高対全国比 イ ゆうちょ貯金＝全国受取利子×分割比率－支払利子×分割比率 分割比率：ゆうちょ貯金残高対全国比 ウ 財政融資資金特別会計＝{全国受取利子×(地方公共団体貸付金÷運用資産合計)×貸付残高対全国比}－{全国支払利子×(地方公共団体貸付金÷運用資産合計)×貸付残高対全国比} エ 国際協力銀行、日本政策投資銀行、日本政策金融公庫、日本政策投資銀行、農林漁業金融公庫、国民生活金融公庫、住宅金融支援機構、福祉医療機構、中小企業基盤整備機構 ＝全国受取利子×分割比率－全国支払利子×分割比率 分割比率：貸出残高対全国比 オ 日本学生支援機構＝全国受取利子×分割比率－全国支払利子×分割比率 分割比率：学生数の対全国比</p> <p>中間投入額＝産出額×国の中間投入比率</p> <p>産出額＝①＋②＋③＋④ ①民間生命保険＝全国産出額×契約高対全国比(個人+団体) ②公的的生命保険＝全国産出額×年度末保有契約金額対全国比 ③年金基金＝ア＋イ ア 厚生年金基金・同連合会、勤労者退職金共済機構、国民年金基金・同連合会、中小企業総合事業団(小規模企業共済制度)＝全国産出額×加入者数対全国比 イ 適格退職年金、確定給付企業年金、石炭鉱業年金基金 ＝全国産出額×雇用者数対全国比(石炭のみ従業者) ④非生命保険＝全国産出額×分割比率 [分割比率]＝火災保険+自動車保険+自賠責保険の(新契約保険料－支払保険金)の対全国比</p> <p>中間投入額＝産出額×国の中間投入比率</p>	<p>日本銀行統計(日本銀行) 直接照会 大阪府統計年鑑(府統計課) 地方財政状況調査(府財政課) 経済センサス、事業所・企業統計(総務省) 学校基本調査(文部科学省) 関係指標</p> <p>損害保険料率算出機構HP 生命保険協会ホームページ 経済センサス、事業所・企業統計(総務省) 関係指標 直接照会 市町村決算の状況(自治大阪)</p>

項 目	推 計 方 法	資 料 名 ・ 照 会 先
8 不 動 産 業	<p>産出額＝(1)＋(2)＋(3)</p> <p>(1)不動産仲介業 } 全国産出額×年度転換比率(第3次産業指数: (2)不動産賃貸業 } 年度値/暦年値)×従業員数対全国比 (3)住宅賃貸業＝1㎡当たり平均家賃×住宅床面積 (分配系列で推計)</p> <p>中間投入額＝産出額×国の中間投入比率</p>	<p>経済センサス、事業所・ 企業統計(総務省) 第3次産業活動指数(経産省) 関係指標 住宅・土地統計調査(総務省)</p>
9 運 輸 ・ 通 信 業 (1)運輸業	<p>産出額＝①＋②＋③＋④＋⑤</p> <p>①鉄道業＝ア＋イ＋ウ ア JR旅客＝鉄道輸送事業営業収益×乗車人員数対全国比 イ JR貨物＝ " ×貨物取扱数量(発送ト数)対全国比 ウ JR以外の鉄道・軌道・索道＝営業収入の大阪府分</p> <p>②道路運送業＝ア＋イ ア道路旅客業＝乗合バス+貸切バス+特種バス+ハイヤータクシーの営業収入 イ道路貨物輸送業＝全国産出額×年度転換比率×貨物運送取扱 実績(輸送ト数)対全国比</p> <p>③水運業＝ア＋イ＋ウ ア 外洋輸送業＝全国産出額×年度転換比率×海上出入貨物における外国貿易貨物量(輸出)の対全国比 イ 沿海・内水面輸送業＝全国産出額×年度転換比率×沿海運輸業及び内陸水運業の従業者数対全国比 ウ 港湾輸送業＝全国産出額×年度転換比率×海上出入貨物量(輸移出+輸移入)の対全国比</p> <p>④航空運輸業＝国内線+国際線 各全国産出額×年度転換比率(第3次産業活動指数)×輸送人対全国比</p> <p>⑤その他の運輸業＝ア～キの合計 ア 貨物運送取扱＝全国産出額×年度転換比率×貨物運送取扱実績対全国比 イ 倉庫業＝全国産出額×年度転換比率×普通倉庫の年度平均月末在庫量対全国比 ウ 梱包業＝全国産出額×年度転換比率×従業者数対全国比 エ 道路輸送施設提供業＝a+b+c a 高速自動車道、都市内有料道路、地方公共団体有料道路 ＝料金収入の大阪府内分 b 路外駐車場＝全国産出額×年度転換比率×駐車可能台数対全国比 c 自動車ターミナル＝全国産出額×(産業連関表:自動車ターミナル/道 路運送施設提供業合計)×(自動車ターミナル大阪/全国)×年度 転換比率 オその他の水運附帯サービス業＝全国産出額×年度転換比率×従業者数対全国比 カ 航空施設管理(産業)・その他の航空附帯サービス ＝全国産出額×年度転換比率×航空運輸業産出額対全国比 キ旅行・その他の運輸附帯サービス＝全国産出額×年度転換比率×従業者数対全国比</p> <p>中間投入額＝産出額×国の中間投入比率</p>	<p>直接照会 貨物地域流動調査(国土交通省) 大阪市高速鉄道事業会計決算書 地方公営企業決算の状況(自治大阪) 第3次産業活動指数(経産省) 陸運統計要覧(国土交通省) 交通関連統計資料集(") 港湾統計年報(") 航空輸送統計年報(") 経済センサス、事業所・ 企業統計(総務省) 大阪府統計年鑑(府統計課) 近畿運輸局業務要覧 大阪市有料道路事業会計決算書 産業連関表(総務省) 自動車駐車場年報 大阪府道路公社決算書 関係指標</p>
(2)通信業	<p>産出額＝①＋②</p> <p>①郵便業＝郵便業務収入額×引受内国郵便数対全国比 ②電信電話業＝ア＋イ＋ウ＋エ ア 国内電信電話業(移動通信を除く)＝全国産出額×年度転換比率×(加入電話:発信回数対全国比) イ 移動通信業＝全国産出額×年度転換比率×(携帯電話+PHS:発信回数対全国比) ウ 国際電信電話＝全国産出額×年度転換比率×(加入電話:発信回数対全国比) エ その他の通信サービス＝全国産出額×年度転換比率×従業者数対全国比 <年度転換比率＝第3次産業指業活動指数の年度÷暦年></p> <p>中間投入額＝産出額×国の中間投入比率</p>	<p>テレコムデータブック(電気 通信事業者協会) 経済センサス、事業所・ 企業統計(総務省) 第3次産業活動指数(経産省) 関係指標</p>

項 目	推 計 方 法	資 料 名 ・ 照 会 先
<p>10 サービス業</p> <p>(1) 対個人サービス業</p> <p>(2) 対事業所サービス業</p> <p>(3) 公共サービス業</p>	<p>産出額=①+②+③+④</p> <p>①娯楽業(映画含む)、旅館業、洗濯・理容・浴場業 =全国産出額×年度転換比率×従業者数対全国比×拡大比率</p> <p>②放送業=ア+イ+ウ ア NHK=大阪府受信料収入額+ {(受信料収入額:大阪府/全国)×全国交付金収入額} イ 民間放送業=(営業収入-代理店手数料)×従業者数対全社比 ウ 有線放送業=全国産出額×従業者数対全社×年度転換比率</p> <p>③飲食店=全国産出額×年度転換比率×従業者数対全国比</p> <p>④その他の個人サービス業=全国産出額×年度転換比率×従業者数対全国比</p> <p>中間投入額=産出額×国の中間投入比率</p> <p>産出額=①+②+③+④</p> <p>①広告業=全国産出額×年度転換比率×年間売上高対全国比</p> <p>②業務用物品賃貸業=事務用機械器具等賃貸業、貸自動車業の各全国産出額×年度転換比率×従業者数対全国比×拡大比率</p> <p>③自動車整備・機械修理業=ア+イ ア 自動車整備業=全国産出額×年度転換比率× 自動車保有車両数対全国比 イ 機械修理業=全国産出額×年度転換比率× 機械・家具等修理業従業者数対全国比</p> <p>④その他の事業所サービス業 =全国産出額×年度転換比率×従業者数対全国比×拡大比率 ※ 拡大比率:1従業者あたり収入額対全国比(経済センサス、サービス業基本調査報告)</p> <p>中間投入額=産出額×国の中間投入比率</p> <p>産出額=①+②+③+④+⑤</p> <p>①教育=全国産出額×年度転換比率×従業者数対全国比</p> <p>②研究=全国産出額×年度転換比率×従業者数対全国比</p> <p>③医療・保健衛生=医療業+保健衛生 医療業=a+b+c a 傷病治療費=ア+イ+ウ+エ+オ ア 公費負担分=結核予防+生活保護+戦傷病者+身体障害+児童福祉+自衛官等 +原爆医療+精神保健+母子保健+特定疾患+小児慢性+措置医療+老人被爆 イ 保険者等負担分=健康・日雇健康保険+国民健康保険+共済組合(国家+地方 公務員)+公共企業体職員共済組合+その他(私立学校の み)+組合管掌健康保険+船員(現物給付) ウ 老人保健分=医療給付費-審査支払手数料 エ 患者負担分=全国患者負担分×支払確定額対全国比 オ 後期高齢者医療分=後期高齢者医療給付費 b 正常分娩費=1件あたり正常分娩費用×(出生児数+自然死産児数) c 室料差額等=(a+b)×室料差額等比率 保健衛生=全国産出額×年度転換比率×従業者数対全国比</p> <p>④介護=直接照会より</p> <p>⑤その他の公共サービス=全国産出額×年度転換比率×従業者数対全国比 <年度転換比率=第3次産業指業活動指数の年度÷暦年></p> <p>中間投入額=産出額×国の中間投入比率</p>	<p>経済センサス、事業所・企業統計(総務省)</p> <p>直接照会 第3次産業活動指数(経産省) 個人企業経済調査(総務省) 陸運統計要覧(国土交通省) 財政状況調査(府統計課) 関係指標 基金年報(社会保険診療報酬支払基金)</p> <p>国民医療費の概況(厚生労働省) 人口動態統計の概況()</p>

項 目	推 計 方 法	資 料 名 ・ 照 会 先
<p>11 政府サービス生産者</p> <p>3つに分類して算出</p> <p>(1)電気・ガス・水道業</p> <p>①下水道</p> <p>②廃棄物処理</p> <p>(2)サービス業</p> <p>①教育</p> <p>②学術研究機関</p> <p>(3)公務</p>	<p>産出額＝雇用者報酬＋中間投入＋固定資本減耗 ＋生産・輸入品に課される税</p> <p>雇用者報酬＝①＋②＋③</p> <p>①人件費(給与、諸手当、共済費、賃金・俸給、給与住宅差額家賃等、決算書の該当項目を集計)</p> <p>②雇主の現実社会負担(共済、児童手当、社会保険料等の雇主負担分)</p> <p>③雇主の帰属社会負担(退職手当等)</p> <p>中間投入＝物件費、維持補修費等、決算書の該当項目を集計－ソフトウェア(中間投入に占めるソフトウェアの国の比率×府の中間投入)</p> <p>固定資本減耗＝①＋②＋③</p> <p>①建物の固定資本減耗＝建物面積×単位面積当り評価額×減価償却率＋資本偶発損</p> <p>②建物以外の社会資本減耗＝該当項目を集計</p> <p>③ソフトウェアの資本減耗 ＝国の政府サービス生産者ソフトウェア減耗額×府のソフトウェア額/国の政府サービス生産者のソフトウェア額</p> <p>生産・輸入品に課される税＝自動車重量税、国有資産所在市町村交付金、公課費等、決算書の該当項目を集計</p>	<p>財政状況調査(府統計課)</p> <p>地方財政状況調査(府財政課)</p> <p>大阪府歳入歳出決算書</p> <p>地方公共施設状況調査(府財政課)</p> <p>地方公営企業決算状況(自治大阪)</p> <p>市町村決算の状況(〃)</p> <p>市町村公共施設状況(〃)</p> <p>大阪市決算書</p> <p>大阪市下水道決算書</p> <p>関係指標</p>
<p>12 対家計民間非営利サービス生産者</p>	<p>産出額＝(1)＋(2)</p> <p>(1)教育＝全国産出額×従業者数対全国比</p> <p>(2)その他＝全国産出額×従業者数対全国比</p> <p>中間投入額＝国の中間投入額×従業者数対全国比</p>	<p>経済センサス、事業所・企業統計(総務省)</p> <p>関係指標</p>
<p>13 輸入品に課される税・関税</p>	<p>輸入関税＋税関分(消費税＋酒税＋たばこ税＋揮発油税＋石油・石炭税)</p>	<p>直接照会</p>
<p>14 総資本形成に係る消費税(控除)</p>	<p>支出系列の総固定資本形成×投資控除税額比率(項目別に推計)</p>	<p>関係指標</p>
<p>15 帰属利子(控除)</p>	<p><帰属利子＝a.受取利子＋b.受取配当－c.支払利子></p> <p>(1)民間金融機関＝①～④の合計</p> <p>① 全国銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、商工組合中央金庫、農業協同組合、信用農業協同組合連合会＝a～cのそれぞれについて、 全国値×預金残高または貸出残高の対全国比</p> <p>② 全国証券会社＝a～cは株式売買高の対全国比</p> <p>③ 農林中央金庫、ノンバンク＝a～cは従業者数対全国比</p> <p>④ その他＝全国帰属利子×全国銀行勘定対全国比</p> <p>(2)公的金融機関＝下記の合計</p> <p>日本銀行、ゆうちょ貯金、財政融資資金特別会計、日本政策投資銀行、日本政策金融公庫、住宅金融支援機構、福祉医療機構、日本学生支援機構、中小企業基盤整備機構＝ a～cのそれぞれについて 全国値×貸出残高対全国比</p> <p><対全国比＝9.金融・保険業で推計></p>	<p>直接照会</p> <p>関係指標</p> <p>日本銀行統計(日本銀行)</p>

項 目	推 計 方 法	資 料 名 ・ 照 会 先
16 固定資本減耗	<p><固定資本減耗＝減価償却費＋資本偶発損> ※資本偶発損＝減価償却費×国の資本偶発損比率</p> <p>1. 産業</p> <p>(1) 農林水産業＝①＋②＋③ ①農業＝産出額×国の固定資本減耗比率 ②林業＝産出額×国の固定資本減耗比率 ③水産業＝産出額×国の固定資本減耗比率</p> <p>(2) 鉱業＝産出額×国の固定資本減耗比率</p> <p>(3) 製造業＝①＋②＋③＋④ ①工業統計分＝(製造品出荷額等:全数÷30人以上)× 減価償却費(30人以上)×年度転換比率(産出物価指数×工業指数) ②官公営＝ア＋イ ア府営印刷＝(出版印刷業:減価償却費÷産出額)×産出額 イ造幣局＝財政状況調査より ③と畜業＝産出額×国の固定資本減耗比率 ④砕石業＝砕石業減価償却費×(窯業・土石製品製造業:工業指数×産出物価指数)</p> <p>(4) 建設業＝産出額×国の固定資本減耗比率</p> <p>(5) 電気・ガス・水道業＝①＋②＋③ ①電気・ガス業＝直接照会より ②水道業＝(上水道減価償却費:大阪府+大阪市+堺市+他市町村)＋簡易水道減価償却費＋(工業用水道減価償却費:大阪府+大阪市)</p> <p>③廃棄物処理業＝産出額×国の固定資本減耗比率</p> <p>(6) 卸・小売業＝①＋② ①卸売業＝ア＋イ ア卸売業産出額(民間分)×国の固定資本減耗比率 イ食糧管理特別会計＝減価償却費(財政状況調査より) ②小売業産出額×国の固定資本減耗比率</p> <p>(7) 金融・保険業＝産出額×国の固定資本減耗比率</p> <p>(8) 不動産業＝不動産仲介業、不動産賃貸業、住宅賃貸業それぞれに 産出額×国の固定資本減耗比率</p> <p>(9) 運輸・通信業＝運輸業、通信業それぞれに 産出額×国の固定資本減耗比率</p> <p>(10) サービス業＝①＋②＋③ ①個人サービス業＝産出額×国の固定資本減耗比率 ②事業所サービス業＝産出額×国の固定資本減耗比率 ③公共サービス業＝産出額×国の固定資本減耗比率</p> <p>2. 対家計民間非営利サービス生産者＝(1)＋(2) (1)教育＝全国固定資本減耗額×従業者数対全国比 (2)その他＝全国固定資本減耗額×従業者数対全国比</p>	<p>大阪の工業(府統計課) 大阪の工業動向(〃) 日本銀行統計 大阪府歳入歳出決算書 財政状況調査(府統計課) 直接照会 地方公営企業決算の状況(自治大阪) 大阪市決算書 国民経済計算年報(内閣府) 経済センサス、事業所・ 企業統計(総務省) 関係指標</p>

II 経済活動別府内総生産(生産側)(実質)連鎖方式

項 目	推 計 方 法	資 料 名 ・ 照 会 先
	<p>① 国の連鎖DF×年度転換率(産出額・中間投入) ② 前年度固定基準による当年度実質値 ＝府名目値÷(当年度連鎖DF÷前年度連鎖DF) 小計、合計、産出額－中間投入＝総生産額の計算 [政府サービス生産者、対家計民間非営利サービス生産者は、先に 中間投入、総生産額を実質化。] 小計、合計、中間投入額＋総生産額＝産出額の計算</p> <p>③ 連鎖実質の対前年度増加率＝②÷前年度名目値 ④ 12年度実質値(府名目値÷①)、③の伸び率で各年度値推計 ⑤ 府連鎖DF＝府名目値÷④の府連鎖実質</p>	<p>国民経済計算確報 投入産出物価指数 (日本銀行) 企業物価指数(〃) 企業向けサービス価格指数 (〃) 国土交通省データ (DF:デフレーター)</p>